

《記入例》

「飼料用米多収日本一」参加申込書

平成28年6月〇〇日

氏名（ふりがな）

（のうじくみあいほうじん……だいひょうしゃ のうりん いちろう）

農事組合法人 〇〇農産（代表者：農林 一郎）

住所

〇〇県〇〇市▲▲1-2-3

電話番号

〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

「飼料用米多収日本一」実施要領7の（1）に基づき、別添の出品調査書を添えて、「飼料用米多収日本一」に申し込みます。

## 「飼料用米多収日本一」 出品調査書

【各項目の記載は、地域再生協議会等へ提出の営農計画書等を元に記載願います】

## 1. 28年産の経営概要

(1) 氏名(集団名:代表者名)	農事組合法人 ○○農産(代表者:農林 一郎)
(2) 品種名	北陸193号 モミロマン ※複数の多収品種を作付けしている場合は、以下項目の記載も品種別に書き分けて下さい。
(3) 飼料用米作付面積(※1)	北陸193号 553a 10m <sup>2</sup> (又は55,310m <sup>2</sup> ) モミロマン 621a 25m <sup>2</sup> (又は62,125m <sup>2</sup> )
(経営全体の全水稲作付面積)	2,534a 10m <sup>2</sup> (又は253,410m <sup>2</sup> )
(全経営面積)	3,458a 30m <sup>2</sup> (又は345,830m <sup>2</sup> )

※1「営農計画書等」に記載された多収品種の面積

【参考】 (4) 前年(27年)産の多収性専用品種の 全収穫量(※2)	105,660kg
・10a当たりの収量(a)	900kg/10a
(地域の基準単収(b))	530kg/10a
(地域の作況指数(c))	101
・基準単収との比較 ( a - (b × c ÷ 100) )	364.7

※2 27年産で提出済の経営所得安定対策等実施要綱の様式第12-2号等の「飼料用米」欄の「玄米」「もみ(0.8の係数を乗じて玄米換算した重量)」の合計収量

## 2. 28年産の収量向上の取組

(1) 品種の選択	
・選択した理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸193号、モミロマンともに、耐倒伏性にも優れている。また、直播栽培でも多収という品種であるとともに、当地域での栽培に適していることから選択した。</li> <li>・また、いもち病の抵抗性があり、殺虫剤の散布を減らせるというメリットもある。</li> <li>・2品種に取り組むことで作業分散が可能となっている。</li> </ul>
・種子入手方法	平成28年産用の種子については、北陸193号は全量JA○○から購入、モミロマンは全量自家採種。
・種子消毒	○○による薬剤消毒(3月)

(2) 施肥 (銘柄、成分、投入量(kg/10a))	
・土壌改良資材 (kg/10a)	牛ふん堆肥 1,500kg/10a
・基肥 (kg/10a)	〇〇化成(15-15-15) 60kg/10a
・追肥 (kg/10a)	尿素(窒素含量46%)20kg/10a程度を2回に分けて追肥予定(〇月〇旬、〇月〇旬)。

### 3. 28年産の生産コスト低減の取組

(1) 播種形式(移植・直播等)	春作業の軽減を図るため、モミロマンについては、鉄コーティング種子の利用による湛水直播栽培を導入、北陸193号については、疎植乳苗栽培を導入。
(2) 堆肥や安価な肥料の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同地区の近隣畜産農家から稲わらと交換で堆肥を入手して活用。</li> <li>・追肥を流し込み施肥で実施予定。</li> </ul>
(3) 防除(除草、病害虫)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除草: 〇月〇日に〇〇〇〇〇〇剤を散布</li> <li>・病害虫防除: 〇月〇日 〇〇〇〇〇〇剤を散布</li> <li>・除草: 〇月上旬頃に 〇〇〇〇〇〇剤を散布予定</li> <li>・病害虫防除: 〇月中旬頃に 〇〇〇〇〇〇剤を散布予定</li> </ul>
(4) 輪作等の状況 (品目名)	(25年産) 主食用米
	(26年産) 大豆
※必要に応じて行を追加	(27年産) 大豆
	(28年産) 飼料用米
(5) 乾燥・調製 (ライスセンターやカントリーエレベーター等の共同施設利用等)	JA〇〇ライスセンターの調製・保管施設を利用
(6) 規模拡大 (農地集積・団地化等)	農地中間管理機構を通じて農地集積及び団地化を実施。〇年の〇〇haから、現在〇〇haに拡大。今後も農地集積を進め、〇〇ha程度まで拡大したい。

### 4. その他

<ul style="list-style-type: none"> <li>・特記事項 (流通経費削減の取組の工夫や、地域農業(地域JA、集落営農組合)との関わり等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需要者と協議し、純バラで出荷。</li> <li>・地域の農家で機械銀行を設立し、機械利用を合理化。</li> <li>・地域の畜産農家と直接取引(フレコン出荷)</li> </ul>
---	--

添付資料: 28年産の営農計画書の写し